

湖南高校における学校図書館の取り組み

1 学校の概要

- ① 所在地：郡山市湖南町福良字ノ上 8453-1
- ② 学級数・生徒数（令和 6年 12月 1日現在）：3 学級（全学年 1 学級）全校生徒 58 名
- ③ 学校図書館の蔵書数：7,099冊

2 本校における読書推進活動の取り組み

① 企画展示

生徒に本や読書に関心を持ってもらうため、年中行事や学校行事などに合わせた本の展示や、新着図書の展示を定期的に入れ替えながら行っている。また、本の展示だけでなく、行事に沿った小物なども併せて展示している。

今年度は「湖南高校漫画喫茶化計画!？」と銘打ち、県南地区の高校から様々な漫画を借りて漫画特集を行い、図書館に馴染みのない生徒の来館を促した。



【七夕】



【クリスマス】



【漫画】

② 全校ビブリオバトル

毎年全校行事として「校内ビブリオバトル」を行っている。今年度も観戦者として学校運営協議会の方々がビブリオバトルに参加した。



【当日の様子①】



【当日の様子②】



【当日の様子③】

③ 図書委員会による書籍購入

今年度は3年に1度の図書委員による書籍購入を行った。図書委員4名が参加し、郡山市にある書店で購入する本を直接選んだ。購入前に全校生にアンケートを実施し、湖南高校生がどんな本を読みたいか調査し、生徒の意見を反映した選書を行った。



【事前準備の様子】



【当日の様子①】



【当日の様子②】

④ 学校司書と学ぶリーディングスキル

生徒のリーディングスキルの向上と、読書に親しみを持つことを目的に、学校司書が講師となり各学年 2 時間ずつ講座を実施している。ビンゴゲームを用いて情報収集の方法を学ぶ講座や、人狼ゲームを用いてリーディングスキルの向上など読書への親しみが持てるような講座を行っている。



【空想読書の様子】



【調べ物ビンゴの様子】



【百科事典を用いたゲームの様子】

⑤ 朝読書及び昼の放送

読書定着を目的に定期的に朝読書を行っている。朝読書 1 日目に図書館に来て直接本を選び、読破を目標に読書に取り組んでいる。また、昼休みに「音楽×文学」と題し、宮沢賢治『銀河鉄道の夜』などをモチーフにした楽曲を流し、作品紹介を図書委員が行った。



【朝読書の様子】



【放送の様子】



【音楽×文学の展示】

3 コミュニティ・スクールにおける図書館の取り組み

① 民話プロジェクト

このプロジェクトは、湖南町の文化である民話に触れ、親しむことで湖南の魅力を体感し、生徒が主体的に発信することで本校及び湖南町の活性化に繋げること、湖南民話を絵本や紙芝居などに再構築することでリーディングスキルの向上を目的として行っている。地元の方を講師としてお招きし、民話を練習する。今年度は湖南町の敬老会や商工祭で民話の語り・劇をそれぞれ発表した。



【敬老会の様子】